

特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド 2009 年度事業報告書
2009 年度 (2009 年 4 月 1 日 ~ 2010 年 3 月 31 日)

子ども達へ生きる勇気を届け、応援の輪を広げていくために、2007 年度より実施しているチャリティ朗読劇「ハッピーバースデー」は、今回も多くの組織、個人からのご支援をいただき、3 度目の公演をおこないました。大きな感動と共感を生み出し、子どもたちを応援する人の輪を広げられたと同時に、毎年 of 県内開催が定着してきました。

広く寄せられた寄附金を財源とする N P O 助成は、7 度目となり、今年度は、総額 4,500,000 円を 8 団体へ助成しました。第 1 回目からの累計助成総額は、約 2,080 万円に、助成対象団体は、のべ 50 団体に達しました。

なかなか回復しない景気の中で、資金以外でも、子どもの育ちに協力できるようにするために、今年度は、子ども・若者や子育て支援のための N P O と企業や行政との連携促進のインフラ整備にも取り組み、調査や仕組みの検討を進めました。地域で地道に子ども・若者や子育ての支援を続ける N P O の存在を知らせ、信頼性を向上させるための取り組みとして、N P O 向けのブログ講座や団体データベースの充実と P R、ポータルサイトの制作にも取り組みました。

【2009 年度事業の概要】

1. 会員状況・各種寄付プログラム実施と寄付の受け入れ
2009 年度寄付総額 4,244,405 円、正会員 60 名、子ども応援会員 123 名
2. 広報・啓発事業
 - (1) 朗読劇「ハッピーバースデー」～チャリティ公演 2009 横浜の開催 (2009 年 11 月 14 日開催)
 - (2) 広報、イベント・キャンペーンへの出展
紹介されたメディア (ラジオ出演 2 件、新聞報道 2 件)、イベント等への参加 13 件
3. 民間非営利組織への助成・技術支援
 - (1) 2009 年度助成贈呈式・報告会の開催 (2009 年 6 月 14 日開催)
 - (2) 2009 年助成対象団体への技術支援 (2009 年助成対象団体の実施を希望した 5 団体)
 - (3) 2010 年助成選考委員会設置と選考
 - (4) 2010 年助成公募広報、助成説明会の開催 (県内 4 箇所)
 - (5) 2010 年助成対象団体の決定と実施 (8 団体、助成総額 4,500,000 円)
 - (6) 全労災地域貢献助成事業 (子ども分野) への協力
4. 子ども・若者、子育てに関する活動調査と情報収集・提供
 - (1) W E B サイト・携帯サイトの運営、ポータルサイトの仮オープン
 - (2) メールマガジン、広報紙発行、ブログ、ツイッターによる情報発信
 - (3) 広域への情報発信・P R 活動 (平成 21 年度郵便事業 (株) 年賀寄附金助成事業)
 - (4) 子ども・子育て支援推進をめざす企業等と N P O の連携具体化のしくみづくり
(神奈川子ども・子育て支援プロジェクト補助事業)
 - (5) 地域・公益ポータル推進プロジェクト
 - (6) N P O の情報発信支援
 - (7) 各種協議会等への参加、講師対応
5. 神奈川子ども未来ファンドの組織基盤強化に関する取り組み
 - (1) 通常総会、理事会 (2 回)、臨時理事会 (2 回)、運営委員会 (15 回) の開催
 - (2) 神奈川県民税個人住民税控除対象法人の指定取得
 - (3) 夏季大学インターン、職業訓練生、若者の社会体験ボランティアの受け入れ

1 会員状況・各種寄付プログラム実施と寄付の受け入れ

(1) 会員の増加

会員制度の広報に努め、入会を呼びかけました。

継続した支援とファンドの運営基盤強化の観点からはさらなる会員増が必要です。

【2010年3月31日時点の会員数】

正会員 60名(前年度52名 比+8名)
子ども応援会員 123名・組織(前年度123名 +0名 自動払込会員52名含)

(2) 2009年度の寄付受け入れに関する各種協力

企業の従業員社会貢献プログラムからのご支援や、横浜Fマリノスのファン感謝デーでの募金活動など、大勢の人が参加する機会を通じたご寄付をいただきました。

(3) 各種寄付プログラム実施と寄付の受け入れ

2009年度寄付総額 : 4,244,405円(前年比 1,745,243円)
寄付協力組織数 : 76件(実数)
個人寄付者数 : 119件(のべ人数)

【受入れ寄付金の内訳】

補助科目	金額	割合	協力個人数	協力組織数
企業からの寄付	1,332,736	31.4%		17
個人寄付	801,521	18.9%	56	
イベントを通じた寄付	456,463	10.8%		13
職域での募金、チャリティプログラム	772,358	18.2%		12
ゆうちょ銀行口座からの自動払込寄付	240,000	5.6%	51	
募金箱	250,318	5.9%		24
奉仕組織・NPO等からの寄付	262,250	6.2%		9
オンライン寄付(クレジットカード・ネット銀行)	111,250	2.6%	12	
マイバック寄付プログラム	17,509	0.4%		1
合計	4,244,405	100.0%	119	76

2 広報・啓発事業

(1) 「朗読劇ハッピーバースデー～チャリティ公演 2009 横浜」の実施

子ども達へ生きる勇気を届け、応援の輪を広げるために、昨年に引き続き、様々な組織のご協力、ご協賛を得て「朗読劇ハッピーバースデー～チャリティ公演」を横浜で開催しました。

【朗読劇「ハッピーバースデー」チャリティ公演 2009 横浜】

公 演 日 時 : 2009 年 11 月 14 日(土)2 回公演(昼 13 時～、夕 16 時半～)
会 場 : 関内ホール大ホール(1,102 名定員) 横浜市中区住吉町 4-42-1
主 催 : (特)神奈川子ども未来ファンド、(有)オフィス・デュオ、関内ホール
出 演 : 内海賢二、野村道子、はやみけい、斎賀みつき、甲斐田裕子、安武みゆき、代永翼、小橋知子、遠藤大智、岩居由希子、小平有希、西郷由香、秦直樹
演 出 : 二瓶紀六
制 作 : (有)オフィス・デュオ
原 作 : 『ハッピーバースデー』(青木和雄・吉富多美共著 金の星社刊)
チ ケ ッ ト : 3,000 円(全席指定)

ステージ企画：バースデートーク(夕公演のみ)

朗読劇公演に先立ち、主催関係者が、朗読劇の趣旨や開催に対するの思いを語った。

出 演 者 : 松沢 成文氏 (神奈川県知事・神奈川子ども未来ファンド賛同人)
野村 道子氏 (声優・ハッピーバースデーばあちゃん役)
青木 和雄氏 (朗読劇原作者・神奈川子ども未来ファンド理事長)
吉富 多美氏 (朗読劇原作者・神奈川子ども未来ファンド理事)
仲山今日子氏(テレビ神奈川アナウンサー)

観 客 動 員

総 動 員 数 : 約 1,900 名(親子招待 300 名含)

運営ボランティア : 約 100 名

募 金 総 額 : 1,207,222 円(会場募金 139,045 円、書籍チャリティ販売収益 85,738 円含)

親 子 招 待 : 150 組 300 名を、公募により招待。(昼・夕 75 組ずつ)

公募は、横浜市立小中学校での全児童生徒への案内チラシ配布のほか、メディアを通じてよびかけ。2009 年 8 月 10 日締切、応募総数は 1,050 通。8 月 13 日に抽選を実施し招待者を決定。

会 場 展 開

- 1) バースデーメッセージ : こぶしの花の絵に書いた出演者、関係者のメッセージ
- 2) 神奈川の子ども・子育て支援団体展示(9 団体、子ども未来ファンド助成対象団体)
- 3) 原作本、関連書籍のチャリティ販売、原作者サイン会
- 4) 神奈川の子ども・子育てを支える募金活動(神奈川子ども未来ファンドへの寄付)

広 報

- 1) 掲 載 記 事 : 15 件(詳細別紙)
- 2) 紹介メディア : t v k・街頭ビジョン(横浜市内 6 箇所)での CM 放送(5 ヶ月間)の他、3 回の t v k 告知、地域 FM(FM ブルー湘南、FM サルース)告知
- 3) チラシ制作枚数 : 360,000 枚
- 4) ポスター制作枚数 : 500 枚

協賛等（敬称略）

- 協力：(株)賢プロダクション、(株)tvkコミュニケーションズ、(有)オフィス・アオキ、(株)金の星社、横浜新都市交通(株)、横浜高速鉄道(株)
- 協賛：(株)川口、アフラック首都圏総合支社、タカナシ乳業(株)、(株)シモジマ、JA横浜、(株)エイエイピー首都圏営業本部横浜支店、キリンビール(株)横浜支社
- 助成：2009年度ドコモ市民活動団体助成、(財)神奈川新聞厚生文化事業団、財団法人こども未来財団
- 親子招待協賛：(株)荒井屋、(株)ありあけ、(株)ガトーよこはま、キーコーヒー(株)横浜中央営業所、(株)キタムラ・ケイツウ、(株)京急百貨店、(株)ダイイチ、(株)近澤レース店、(株)東京ボンパドウル、(有)フクゾー洋品店、郵ネットサービス(株)、横濱元町霧笛楼、(株)横浜リテラ、(有)若葉マネキン紹介所、JA横浜、学生服のトバリ、ヨコハマズベストコレクション、横浜西ロータリークラブ、川崎中原ロータリークラブ、(社)日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会有志の会、福祉を考える会、和田不動真福寺、連合神奈川、神奈川県労働者福祉協議会、横浜地域連合、全労済神奈川県本部、自治労神奈川県職員労働組合、自治労神奈川県本部、神奈川県教職員組合、横浜市教職員組合、川崎市職員労働組合、全水労神奈川県支部、横浜水道労働組合、川田健三、遠藤智夫、高取靖、吉弘正信、森末康子、梶谷有華、江成幸枝、江成卓史、青木和雄、吉富多美、匿名数名
- 後援：神奈川県、横浜市こども青少年局、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、神奈川県PTA協議会、横浜市PTA連絡協議会、(財)横浜市芸術文化振興財団、(社福)神奈川県社会福祉協議会、(社福)横浜市社会福祉協議会、横浜市民生委員児童委員協議会、(財)横浜市母子寡婦福祉会、(社)神奈川県青少年協会、(財)横浜市青少年育成協会、(財)横浜YMCA、神奈川県商工会議所連合会、横浜商工会議所、横浜弁護士会、(社)神奈川県商店街連合会、横浜市商店街総連合会、(社)横浜青年会議所、(社)日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会、(株)テレビ神奈川、神奈川新聞社、朝日新聞社横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞社横浜支局、日本経済新聞社横浜総局、産経新聞社横浜総局、東京新聞、FMヨコハマ、アール・エフ・ラジオ日本

(2) 広報、イベント・キャンペーンへの出展

年間を通じて多くの人が集まる機会に出店や展示参加を行い、広く市民や企業、組合等にファンドの認知が高まるよう取り組みました。

【神奈川子ども未来ファンドについて紹介されたメディア】

- 1) FMサルース
放送日：2009年9月中旬（3週連続）
内容：神奈川子ども未来ファンド運営委員杉山治男氏の出演
- 2) 日本経済新聞
掲載日：2010年2月16日
内容：神奈川子ども未来ファンドの活動紹介
- 3) FMサルース
放送日：2010年2月下旬（3週連続）
内容：神奈川子ども未来ファンド賛同人高梨正芳氏の出演

4) 神奈川新聞

掲載日：2010年3月14日

内容：フォーラム「地域の会社とNPOが手をつなぐと。」の開催

【展示・広報・出店等での参加】

1) 第80回かながわ中央メーデー

開催日程：2009年4月29日(水)

会場：みなとみらい臨港パーク

出店内容：バルーン募金、活動紹介、募金活動

主催：同実行委員会(事務局連合神奈川)

2) モトスミ・ブレーメン通り商店街 子どもの日チャリティイベント

開催日程：2009年5月5日(火)

会場：モトスミ・ブレーメン通り商店街(川崎市中原区)

出店内容：商店街オリジナルグッズの販売、チャリティわたがし・のりもの、活動紹介、募金活動

主催：モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合

3) 2009 児童労働撲滅キャンペーン in 神奈川

開催日程：2009年5月30日(土)

会場：横浜そごう正面玄関前広場

出店内容：広報パネル展示、パンフレット・チラシの配布

主催：NTT労働組合

4) 親子木育イベント「みんなで木であそんじゃおう」

開催日程：2009年7月28日(火)

会場：パシフィコ横浜会議室

出店内容：活動紹介

主催：同実行委員会

5) フリフリフリマ(青少年のサポートを行うNPOの活動紹介・相談活動)

開催日程：2009年9月12日(土)

会場：神奈川県立青少年サポートプラザ

出店内容：飲料販売と募金活動、活動紹介

主催：同実行委員会

6) 横浜F・マリノス トリコロールランド

開催日程：2009年9月19日(土)

会場：日産スタジアム北ゲート・東ゲート前広場

出店内容：募金、PRカード配布

主催：横浜マリノス株

7) ヨコハマ WaiWai フェスタ

開催日程：2009年9月27日(土)

会場：横浜大通り公園

出店内容：募金活動

主催：同実行委員会(事務局横浜市労働者福祉協議会)

- 8)モトスミ・プレーメン通り商店街 フライマーケット
開催日程： 2009年10月5日(日)
会場： モトスミ・プレーメン通り商店街(川崎市中原区)
出店内容： 商店街関係者物品提供によるフリーマーケット・商店街オリジナルピンバッジ
マイバックのチャリティ販売、活動紹介、募金活動
主催： モトスミ・プレーメン通り商店街振興組合
協力： モトスミ・プレーメン通り商店街振興組合・井田みすぎ子ども会
- 9)企業とNPO等との協働推進のためのフォーラム
開催日程： 2009年10月27日(月)
会場： 横浜情報文化センター
参加内容： 活動紹介
主催： 神奈川県、NPO法人アドバイザーネットワーク神奈川
- 10)第19回ダンボふれあいバザー
開催日程： 2009年11月23日(祝)
会場： 作業所ダンボ周辺(横浜市保土ヶ谷区和田町)
参加内容： ブース運営
主催： 地域作業所ダンボ・福祉を考える会
- 11)横浜市次世代育成支援シンポジウム
開催日程： 2009年12月19日(土)
会場： 横浜新都市ホール(横浜市西区)
出店内容： 活動紹介
- 12)横浜F・マリノス ファン感謝デー トリコロールフェスタ
開催日程： 2010年1月30日(土)
会場： マリノスタウン(みなとみらい地区 新高島町)
出店内容： ゲームブース、活動紹介、募金活動
協力： 横浜マリノス株
- 13)いき!いき!フェスタ
開催日程： 2010年3月20日(土)
会場： 神奈川県青少年センター(横浜市西区)
出店内容： 活動紹介、募金活動
主催： 神奈川県青少年センター

3. 民間非営利組織への助成・技術支援

(1) 2009年度助成贈呈式・報告会の開催

助成対象になった事業の紹介と、終了した助成事業の成果を広く広報することを目的に実施。

【2009年助成贈呈式・報告会】

開催日程： 2009年6月14日(日)13時～16時
会場： 神奈川県立青少年会館別館 青少年サポートプラザ2F会議室
内容： 2009年助成対象団体紹介・贈呈式、2008年助成活動報告

(2) 2009年助成対象団体への技術支援

助成対象団体に、助成金を効果的に活用してもらうことを目的に実施。

対象： 2009年神奈川子ども未来ファンド助成対象団体(うち希望した5団体)
内容： 広報について、団体担い手の育成について
方法： 団体の希望に応じて、専門家とファンド事務局が団体を訪問し相談に応じました。

【相談対応をいただいた専門家】

* 青木将幸氏(青木将幸ファシリテーター事務所、国際青年環境NGO・A SEED JAPAN理事)

(3) 2010年助成選考委員会設置と選考

各方面の専門家による2010年神奈川子ども未来ファンド助成選考委員会を設置し、選考委員会にて選考基準、選考方法を決定の後、対象団体の選考を行いました。

【2010年助成選考委員】

委員長： 渡邊宣昭氏 (横浜植木株式会社代表取締役)
副委員長： 渡辺誠二氏 (ロータリーの友事務所所長)
委員： 青木将幸氏 (国際青年環境NGO・A SEED JAPAN理事)
飯島奈津子氏 (横浜弁護士会子どもの権利委員会委員)
おちとよこ氏 (ジャーナリスト、絵本児童書作家、高齢者問題研究家)

【2010年助成選考委員会開催状況】

第1回 2009年9月7日(月)13時～15時 かながわ県民活動サポートセンター会議室
第2回 2010年2月19日(金)9時半～13時半 かながわ県民活動サポートセンター会議室

(4) 2010年助成公募広報、助成説明会の開催

2010年助成を県内NPOへ広く広報し、個別団体からの事前相談に対応をしました。
今年度は、県内のNPO支援センターへ働きかけ、複数の資金リソースを情報提供する形態の助成説明会を、各地支援センターと連携して開催しました。

【2010年助成 助成説明会】

1) 横浜市開催(平日夜間開催)

開催日程： 2009年10月19日(月)19時～20時半
会場： かながわ県民活動サポートセンター会議室
内容： ミニレクチャー助成申請のポイント、神奈川子ども未来ファンド助成の紹介
* ファンド単独開催

2) 湘南地区開催 (平日午前開催)

開催日程: 2009年11月6日(金)10時半~12時半
 会場: ニッセイライフプラザ湘南セミナールーム
 内容: 神奈川子ども未来ファンドの他、J T 青少年育成に関する NPO 助成事業の紹介
 共催団体: NPO 法人ふじさわ NPO 連絡会、NPO 法人藤沢市市民活動推進連絡会
 NPO 法人 NPO サポートちがさき、NPO 法人鎌倉市市民活動センター運営会議

3) 相模原開催 (土曜日夜間開催)

開催日程: 2009年11月25日(土)18時~20時
 会場: けやき会館2階職員研修所
 内容: 講座「助成申請のポイント」
 神奈川子ども未来ファンドの他、市民セクターゆめの芽の助成事業の紹介
 主催団体: さがみはら市民活動サポートセンター
 共催団体: NPO 法人相模原市民会議、NPO 法人市民セクターゆめの芽、

4) 横須賀開催 (土曜日午後開催)

開催日程: 2009年11月28日(金)13時~15時
 会場: 横須賀市立市民活動サポートセンター
 内容: 講座「助成申請のポイント」
 神奈川子ども未来ファンドの他、横須賀市の助成事業の紹介
 主催団体: 神奈川子ども未来ファンド、横須賀市立市民活動サポートセンター

(5) 2010年助成対象団体の決定と実施

18団体から応募があり、選考委員会の選考に基づき、総額4,500,000円を助成することを決定し、助成を行いました。

【2010年助成対象団体一覧】 助成総額 4,500,000円

	団体名	事業名 < > 内活動領域	都市名	助成金額
1	片倉うさぎ山公園 あそび場管理運営委員会【継続】	<冒険遊び場> プレイパーク運営強化とプレイパーク出張継続事業	横浜	600,000
2	(特)子どもセンターてんぼ 【継続】	<子どものシェルター> 電話相談員養成事業、事務局体制整備事業	横浜	500,000
3	ウエスト神奈川 女性の人権を守る会【継続】	<DV被害者のシェルター> 子どもの心身ケアのため、子ども担当スタッフの専門性強化	西湘地区	300,000
4	(特)ひだまりの森	<子育て支援> ひだまりの森「子育て期の相談室」開設および基盤づくり事業	横浜	220,000
5	(特)ピアわらべ	<子育て支援> 法人事務局の整備	横浜	800,000
6	エスコラ アクアレラ ブラジル	<外国籍児童の学習支援> エスコラ アクアレラ ブラジル さくら教室	厚木	800,000
7	カラカサン~移住女性のための エンパワメントセンター	<外国籍生徒の学習支援> 外国につながる思春期の子ども達の学習・表現活動支援事業	川崎	800,000
8	(特)ふぁみりーさぼーと のあ	<フリースクール> フリースクール事業 のあインターナショナルスクール	横浜	480,000

(6) 全労災地域貢献助成事業(子ども分野)への協力

全労災地域貢献助成事業の子ども分野プログラムの見直しに対するコンサルテーションと予備審査作業を請け負いました。

4. 子ども・若者、子育てに関する活動調査と情報収集・提供

(1) WEBサイト・携帯サイトの運営、ポータルサイトの仮オープン

WEBサイト、携帯モバイルサイトの運営に加えて、子ども、子育ての貢献活動を行う企業等とNPOの情報交流を目的としたポータルサイト「神奈川の子ども支援ポータル」を仮オープンしました。

WEBサイト 年度末カウント数(2010年3月31日現在)109,534(年間27,097カウント)
ポータルサイト「神奈川の子ども支援ポータル」<http://www.kodomofund.com/portal/>

(2) メールマガジン、広報紙発行、ブログ、ツイッターによる情報発信

年4回発行の広報紙と月1回発行のメールマガジンを定期発行し、ファンドの活動報告や、寄せられた支援、助成対象団体の紹介などを行いました。

また、ブログやツイッターを活用した、日常的な活動状況の発信に努め、活動の透明性を高めました。

メールマガジン 月間+特別号 計18回発行
広報紙「ハンズ to ハンズ」22号~25号を発行
22号(3,000部) 23~24号(各2,000部) 25号(2,500部)
ブログ<http://blog.canpan.info/kodomofund/>(年間17,428カウント)
ツイッター <https://twitter.com/kodomofund>

(3) 広域への情報発信・PR活動

データベース「情報箱」と神奈川子ども未来ファンドのPRを目的とする「子ども・子育て応援PRカード」を作成し、郵便局や各種組織の協力で、広範囲での配布が実現しました。

*カード制作：平成21年度郵便事業(株)年賀寄附金助成事業

(4) 子ども・子育て支援推進をめざす企業等とNPOの連携具体化のしくみづくり (神奈川子ども・子育て支援プロジェクト補助事業)

昨年までの神奈川県との協働事業「中小企業の子ども・子育て家庭に対する貢献活動調査」を元に、社内外への子ども・子育て支援に意欲を持つ企業等と子ども・子育て支援NPOの連携をはばむ要因を調査検討し、民間主体の相互連携による子ども・子育て支援活動を促進するインフラづくりに取り組みました。

1) プロジェクト推進委員会の設置と開催(計4回、6/1、9/14、11/24、1/25)

専門家を交えた委員会を発足、企業・NPO対象の調査設計、結果を検討し、最終的なネットワーク「かながわ子どもいきいき応援フォーラム(以下「応援フォーラム」)の機能や構成などについて検討を行いました。

2) 子ども・子育て支援団体を対象とした調査の設計と実施(8月実施)

県内の子ども・子育て支援NPOへ、活動実態と、企業等に期待する連携の内容を把握する調査を実施しました。(回答数194 回収率43%)

3) 企業調査の設計と実施(10月実施)

NPO調査結果分析に基づき、企業対象の調査を設計、実施しました。(回答数48、回収率32%)

4) 「かながわ子どもいきいき応援フォーラム」の機能検討

「応援フォーラム」の機能検討と共に、企業等との連携のためにNPOが備えるべき条件等の整

理を行いました。

5) 企業等への説明、参加呼び掛け連絡・訪問(2月実施)
複数の企業等に対して連絡・訪問を行い、3/13 記念フォーラム、「応援フォーラム」への参加を要請しました。

6) 「かながわ子どもいきいき応援フォーラム」スタート記念フォーラムの企画広報と実施

【記念フォーラム概要】

地域の会社とNPOが手をつなぐと。～子どもが笑顔のまちづくり

日時：2010年3月13日(土)13~16時

会場：かながわ県民センター・県民活動サポートセンター4階会議室
(同センター内で実施される「市民活動フェア2010」参加企画)

参加者数：約70名

内容：1 基調講演 影山摩子弥氏(横浜市立大学CSRセンターLLPセンター長)
2 かながわ子どもいきいき応援フォーラム(機能と目的)について説明
3 パネルディスカッション 事例から連携のポイントや意義・効果を考える

(5) 地域・公益ポータル推進プロジェクト

NPOへの支援や連携、利用を促していくために、NPOの信頼性を高める取組みとして、全国の20の中間支援組織が連携して全国各地で設置を進める地域・公益ポータル推進プロジェクトの全国会議、関東ブロック会議に参加しました。

全国会議：	2009年8月8日(土)-9日(日)	日本財団ビル会議室
関東会議：	2009年8月22日(土)	千葉市ビジネス支援センター
ポータルサイト見本市	2010年2月4日(木)	千葉市ビジネス支援センター

(6) NPOの情報発信支援

子どもの居場所情報を検索できるデータベース「子どもの居場所情報箱(以下「情報箱」)」は、登録団体数を増やし、情報の更新など充実に努めました。また、NPOの情報発信支援として、ブログ講座を開催し、参加した全団体が新しくブログを開設しました。

【NPO向けブログ講座】

日時：2009年10月31日(土)13時半~17時半(4時間)

会場：学校法人岩崎学園会議室

主催：特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

協力：学校法人岩崎学園、日本財団CANPAN

助成：郵便事業株式会社年賀寄附金助成

参加費：一般 1,500円(一団体につき)

(データベース「子どもの居場所情報箱」登録団体は1,000円)

参加団体：14団体

(7) 各種協議会等への参加、講師対応

昨年に引き続き「神奈川フリースクール・フリースペースNPOネットワーク」「神奈川県こども・子育て支援推進協議会」等の各種会議へ参加しました。

ほかに、ファンド理事・事務局等が、神奈川子ども未来ファンドとして2009年度に対応した講師依頼や各種審議会・委員会は、次の通り

【講師・パネリスト等】

神奈川県高等学校教育会館 教職員のための夏季教育講座講師（2009年8月4日）
神奈川大学経営学部松岡ゼミ・次世代の家と社会をつくる会主催 住育コミュニティ in 神奈川
2009 パネリスト（2009年9月5日）
横浜市都筑区子育て支援センターPopola 主催 サークル交流会講師（2009年10月2日）
綾瀬青年会議所月例会講師（2009年11月27日）
神奈川県主催 かながわコミュニティカレッジ特別講座講師（2009年11月29日）
日本NPOセンター主催 中間支援センター職員研修講師（2009年12月1日）
いきいき福祉会地域ポイントを活用したコミュニティ・グリーン・ニューディール事業寄付シ
ステム検討部会講師（2009年12月3日）
パルシステム神奈川ゆめコープ活動政策調整会議講師（2010年2月3日）
日本ファンドレイジング協会主催 ファンドレイジング日本2010 分科会講師、分科会ファシリ
テーター（2010年2月5日-6日）
いきいき福祉会地域ポイントを活用したコミュニティ・グリーン・ニューディール事業シンポジ
ウムパネリスト（2010年2月27日）

【各種審議会・委員会】

神奈川の協働を推進する県民会議
横浜市児童福祉審議会委員
横浜市ワーク・ライフ・バランス実行委員会委員
働きやすく子育てしやすい横浜の企業認定委員会委員
横浜市親と子のつどいの広場運営協議会委員
横浜市ボランティアセンター運営委員
神奈川県高等学校教育会館評議員
Panasonic NPO サポート ファンド審査委員
横浜市社会的起業家等応援事業審査会委員
横浜市総合型地域スポーツクラブ補助金審査委員

5. 神奈川子ども未来ファンドの組織基盤強化に関する取り組み

(1) 通常総会、理事会、運営委員会の開催

神奈川子ども未来ファンドの各種事業の円滑実施のために、通常総会、理事会及び運営委員会を開催しました。

1) 通常総会

日時： 2009年5月22日(金)19時~20時
場所： かながわ県民活動サポートセンター403号室
議題： 2008年度事業報告について、2008年度収支計算書について、
2009年度事業計画について、2009年度収支予算書について
2010年助成選考委員について

2) 理事会

第1回

日時： 2009年5月11日(月)19時~21時
場所： 横浜市市民活動支援センター4階会議室
議題： 2008年助成事業報告について、2008年度事業報告案・決算案について
2009年度事業計画案・収支予算案について、2010年助成選考委員候補者について
2009年度通常総会について

第2回

日時： 2010年3月24日(水)18時半~21時半
場所： かながわ県民活動サポートセンター702号室
議題： 2010年助成対象団体の決定、2011年助成選考委員について(方針の承認)、神奈川子ども未来ファンドの運営構造について、2010年度事業計画案・収支予算案について
2010年度通常総会、2010年度助成贈呈式・報告会の開催について

3) 理事懇談会

第1回

日時： 2010年2月15日(月)18:30~21:30
場所： 横浜市市民活動支援センターコンファレンスルーム

第2回

日時： 2010年3月5日(金)18:30~21:30
場所： かながわ県民活動サポートセンター706号室

4) 運営委員会(全15回)

2009年4/9、4/23、5/14、6/11、7/9、8/6、9/3、10/8、12/17
2010年1/14、2/4、2/18、2/25、3/11、3/25

(2) 個人住民税控除対象法人の指定

神奈川県民税控除対象法人の申請を行い、指定法人となりました。

(3) インターン生・職業訓練生等の受入れ

1) 夏季大学インターン生の受入れ(7~9月)

アクションポート横浜のプログラムに協力し、4名のインターン生の受け入れを行い、「子どもの居場所情報箱」の更新作業、各種イベントでの広報・募金活動などの活動体験してもらうことができました。

2) 職業訓練生の受入れ(12月)

岩崎学園のプログラムに協力し、職業訓練生を24日間受入れしました。職業訓練で学んだスキルを活かして、各種入力作業やデータ加工を担当してもらいました。

3) 若者の社会体験の機会としてのボランティア受入れ(通年)

横浜若者サポートステーションの事業に協力し、若者の社会体験の機会としてボランティアの受入れを行いました。発送作業や資料印刷などの実務作業、イベント出展等の活動に参加してもらいました。

以上